

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部



令和七年一月度 入賞句一覧

投句数 五百四十七句

持選

長野 美代子 選

冬の日の静かすぎる夜一人酒

揖斐郡池田町 市川 香

私事ですが、主人もお酒が好きで、一人でおいしそうに飲んでいた姿を思い出します。
御句から景色が浮んで参ります。きつとおいしいお酒を飲まれていることでしょうかね。

ふる里は藁の温もり注連作

大垣市 小林 研

素朴で素敵な句ですね。詠んでいるだけで背中が暖かくなってきました。藁はいいですね。
正月が近づき、夜なべ仕事に注連を作っておられる姿が目には浮かんできます。ほのぼのとした田舎の風景も浮かびます。

特大の靴下吊るす聖夜の子

海津市 横井 美圭

楽しい句ですね。靴下の中には何を入れてほしいのでしょうか。子どもも成長すると少しでも大きい靴下をさがして吊るすのでしょうか。子どもの心を良くつかんだ素敵な句です。

秀逸

枯葦や緑青のふく船筆筒

本巢市 小泉 裕子

ありたけの星を支ふる冬木立

安八郡輪之内町 野村 照子

手焙り撫でて老僧の話聞く

大垣市 傍島 隆

百歳の恙なき日や福寿草

大垣市 白井 秀子

年賀状「今年最後」の文字多し

大垣市 森田 和子

善光寺牛を通さぬ雪の道

静岡県浜松市 関根 由雄

冬の蝶葉つばベツトにひと休み

安八郡神戸町 竹中 元子

寂光か我が身つらぬく初日の出

大垣市 北浦 典子

寒稽古はつしと打つや豆剣士

養老郡養老町 佐藤 咲楽

手にのればなほ儂なさの雪蛍

東京都足立区 木幡 忠文

入選

小六月吾子抱く祖母の眠りをり

大垣市

浅井 高男

注連縄は神ばかりでなく寺装う

不破郡垂井町

傍島 法苑

住み替わる結びの地に咲く雪椿

東京都三鷹市

安東 秀哲

ふる里は遠のくばかり牡蠣ご飯

大垣市

酒井 和美

存命の証しとしたる賀状かな

安八郡神戸町

大槻 恭子

悲しみを吸ひ込むやうな冬の星

本巢市

山田 香山

石仏の万の表情注連飾

海津市

水谷 勲一

火渡りや火の粉舞い飛ぶ冬の闇

大垣市

富田 洋子

素顔よし笑顔またよし冬帽子

東京都江戸川区

羽住 玄冬

滋賀の湖夕陽を追ひて時雨けり

愛知県瀬戸市

宮崎 諭志

三寒の山駆け登る襷かな

広島県福山市

栗本 リカ

初茜片目の灯る仁王像

本巢郡北方町春来谷

弘行

息白し片手袋を探す朝

大阪府吹田市

富永 武司

おじや炊くつと思ひ出す土石流

大阪府堺市美原区椋本

望生

これは夢と言ひ聞かせるも寒き朝

埼玉県さいたま市澤田

紫

選者吟

片減りの靴を揃えへて忘年会

美代子

一般の部

